

証券コード：5401



# タイ電炉・熱延メーカー G Steel・G J Steelの買収

2022年1月21日

日本製鉄株式会社

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

# G Steel・G J Steel (G/GJ Steel) の買収

タイで唯一電炉から熱延までの一貫設備を有し、  
汎用グレード熱延製品を製造・販売する  
G/GJ Steelの株式を取得し子会社化

2022年1月21日

現主要株主であるファンド(Ares グループ)との間で株式譲渡契約を締結



電炉・熱延一貫メーカーとしてタイ市場のインサイダー化  
今後堅調な成長が想定される汎用熱延製品需要の捕捉を推進

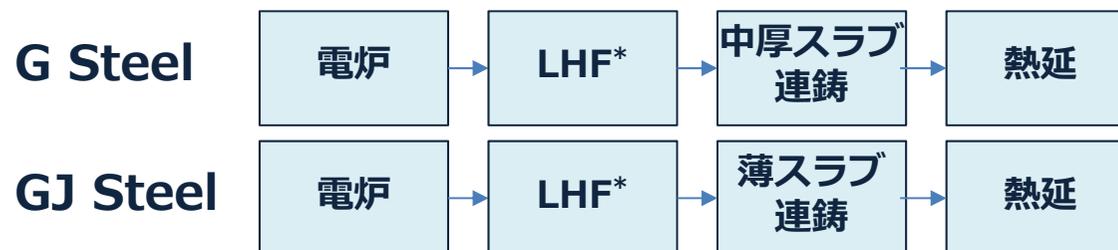
# G/GJ Steel 概要

タイで唯一の電炉・熱延一貫メーカー  
タイ国内トップクラスの粗鋼シェア・熱延鋼板生産シェア

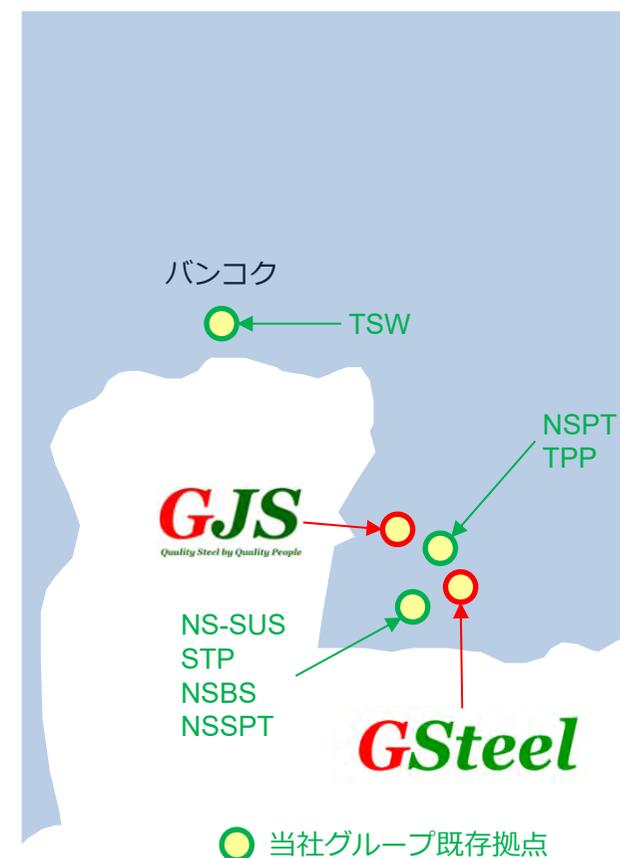
会社概要	G Steel	GJ Steel	計
正式社名	G Steel Public Company Limited	G J Steel Public Company Limited	
設立	1995年 旧 Siam Strip Mill	1994年 旧 Nakornthai Strip Mill	
売上高* (百万バーツ/年)	9,314	11,379	20,693
鋼材販売量* (百万t/年)	0.58	0.71	1.29
鋼材生産能力 (百万t/年)	1.58	1.50	3.08
製造品種	熱延コイル (主に建材・鋼管・問屋向け)		
従業員数** (人)	613	680	1,293
上場	タイ証券取引所		

\*2020年単体実績 \*\*2020.12E

## 製造工程



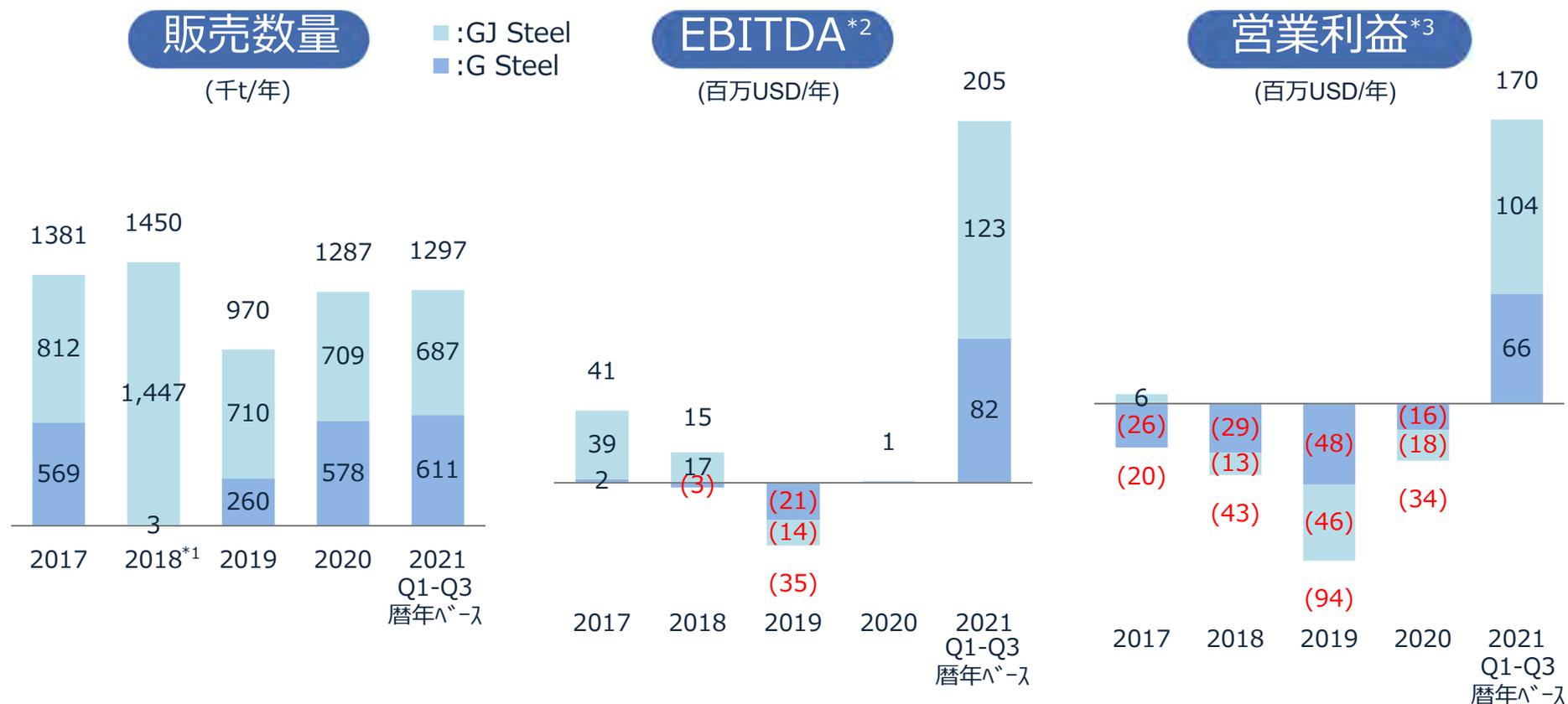
## 製造拠点



\* LHF:Ladle Heating Furnaces

# G/GJ Steel 業績推移

2019年にAres SSGが経営権を取得、経営改善施策を実行し、収益力を抜本的に改善



注：G/GJ Steel単体の単純合算

換算レート：2017~2021年でそれぞれTHB/USD=31.16, 32.57, 31.23, 31.29, 31.29

\*1 GJ Steelがオプピークの電力使用時の生産能力を増強するためのトーリング契約をG Steelと締結していたため、販売数量の大部分をGJ Steelが占めていた

\*2 EBITDA = 営業利益 + (減価償却費 + ロール償却費)

\*3 営業利益 = 売上収益 - (売上原価 + 販売費および一般管理費 + 貸倒費用)

# 買収スキーム概要

## ① ファンドからの保有株式・親子貸付債権の買収

主要株主であったAres SSG傘下の金融ファンドより、G/GJ Steel株式および親子貸付債権を保有する投資会社の全株式および債権を取得予定（クローリング条件充足後、2022年2月目途）

## ② G/GJ Steel株式 公開買付け

ファンドからの株式取得後速やかに公開買付を実施予定

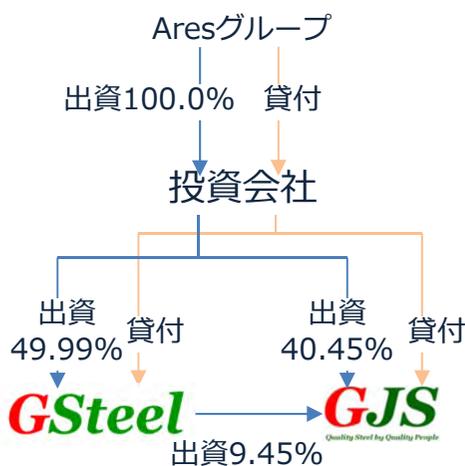
公開買付価格（予定）： G Steel株 0.0081US\$/株（0.27バーツ/株\*）

GJ Steel株 0.0178US\$/株（0.59バーツ/株\*）

タイ証券取引法上、25%/50%/75%以上の取得に伴い公開買付義務が発生

\* 2022.1.18タイ中央銀行公表レート33.0.14バーツ/\$をベースに換算した参考値

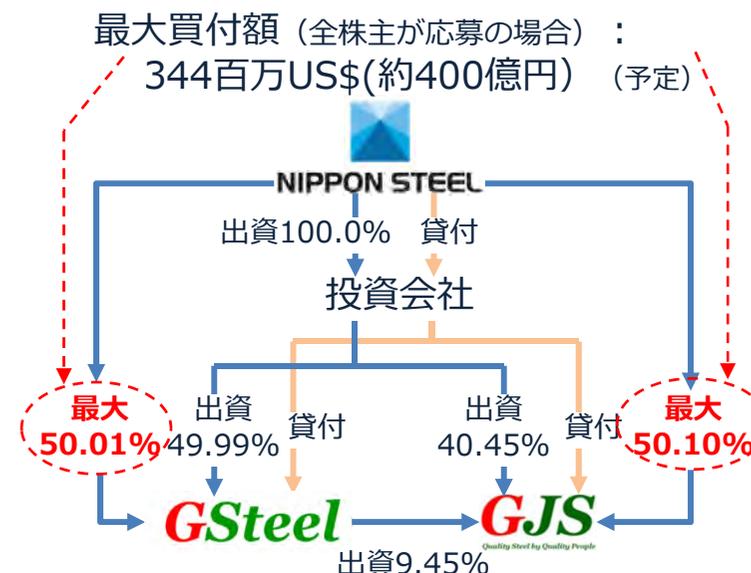
### 株式譲渡前



### 株式取得後



### 公開買付後





# 本件のねらい

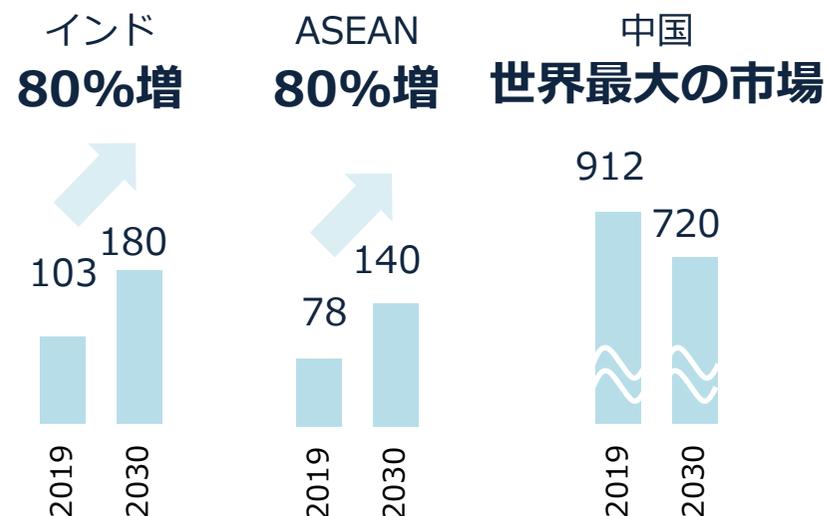
# 当社のグローバル事業戦略

今後も需要が伸長する海外市場において、需要地での一貫生産体制を拡充  
インド拠点の能力拡張、アジア地域での現地一貫製鉄所のM&A等により  
「グローバル粗鋼1億t体制」を目指す

■ 世界鉄鋼需要想定 (当社想定)  
(億 t/年)



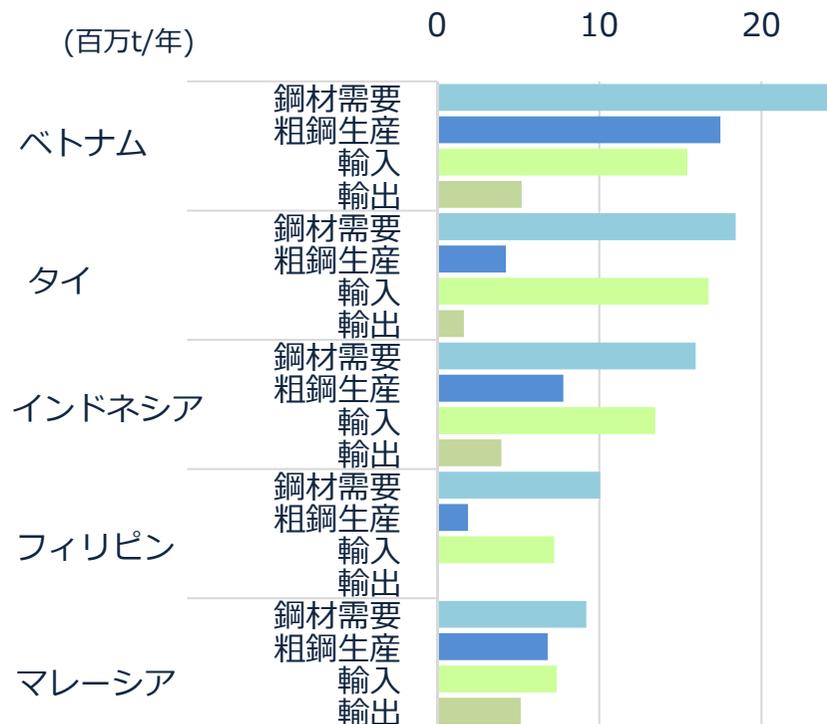
■ 鋼材需要予測 (当社想定)  
(百万t/年)



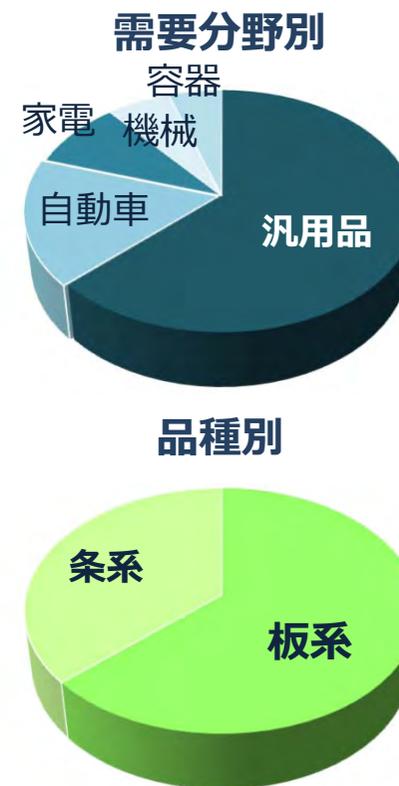
# タイ鉄鋼市場の概要

- ◆ ASEAN市場（約80百万t）の中でベトナムに次ぐ需要規模（約18百万t）
- ◆ タイ経済は製造業の輸出基地として発展、ASEAN諸国の中では鉄鋼需要に占める製造業比率、高級鋼比率が高い
- ◆ 鋼材需要の6割は土木建築向け等の汎用品が占める

## ASEAN鋼材需給バランス



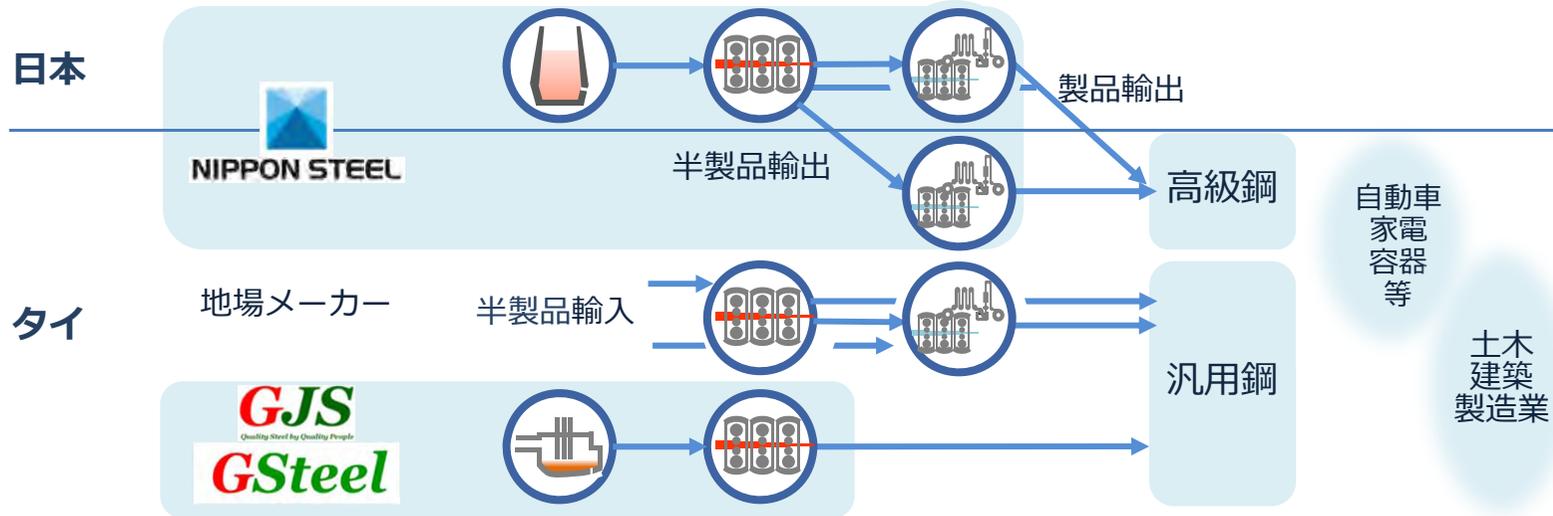
## タイ鉄鋼需要内訳 (当社想定)



# 当社グローバル戦略におけるタイ市場の位置づけ

製造業輸出基地として発展、ASEAN諸国の中では製造業比率が高いタイは、当社にとって重要なマーケット

当社は1960年代から製品加工拠点を設置。日本から半製品を供給し、現地の冷延・メッキ等の加工拠点で製品化することにより、自動車や家電等の製造業向けの高級鋼の需要に対応



需要のボリュームゾーンを占める汎用鋼製品は、タイ地場メーカーが供給  
汎用鋼市場の捕捉には、鉄源一貫でのインサイダー化が重要

# 本件のねらい

## 目的

需要のボリュームゾーンを占め、今後も成長が期待される  
幅広い用途向けの一般汎用熱延鋼板需要の捕捉

## タイ熱延鋼板需要内訳



### 電炉・熱延 一貫ミルでの インサイダー化

- 今後自国産化の流れが加速する中で鉄源一貫でのインサイダー化
- 鉄源から一貫での付加価値を確保
- タイ国内市場規模に見合った鉄源能力規模
- 将来、当社カーボンニュートラルビジョン「電炉での高級鋼製造」の具体的な推進の拠点となりうる可能性

### ブラウンフィールド での取得

- 需給に影響を与えずに参入
- 設備立ち上げ、販売ネットワーク等のリスクを回避

## 電炉・熱延一貫メーカーであるG/GJ Steelを買収

既存の製造・販売等の経営基盤を活用し、  
電炉・熱延一貫ミルにおける生産性・品質の改善に取り組み、  
タイの幅広い鉄鋼需要に応え、経済成長に貢献

グローバル事業戦略における新たな選択肢を確保





# 当社の連結財務諸表への影響

## ■ キャッシュフロー

- Ares SSGからの買収額：419百万US\$（約480億円）  
⇒ 株式譲渡実行時（2022年2月目途）に支払
- 公開買付額：最大 344百万US\$（約400億円）（予定）  
⇒ MTO期間終了後に支払予定

## ■ バランスシート

- 2021年度第4四半期末より資産・負債各項目を連結B Sに反映予定  
連結有利子負債 + 約70億円程度

## ■ 損益計算書

- 2022年度第1四半期より連結子会社として連結P Lに計上開始予定  
G/GJ Steelの2022.1-3月業績を当社の2022.4-6月連結決算に反映

# 海外事業の深化・拡充

「需要の伸びが確実に期待できる地域」「当社の技術力・商品力が活かせる分野」で一貫生産体制により高い付加価値を確保する本格的海外事業へとステージアップ



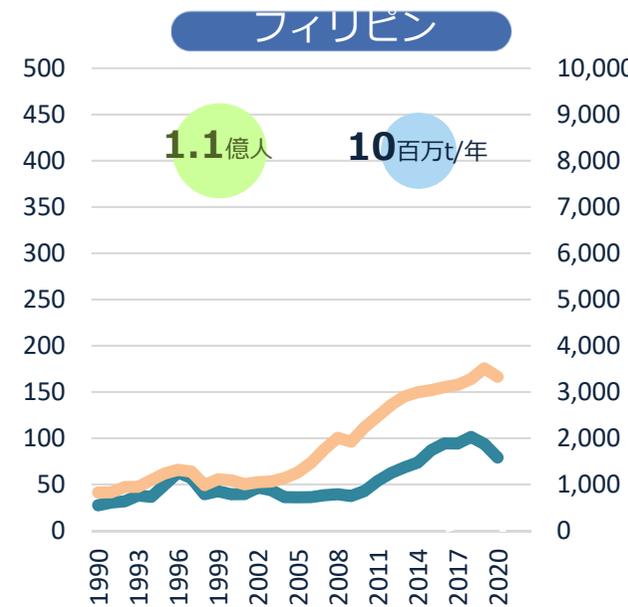
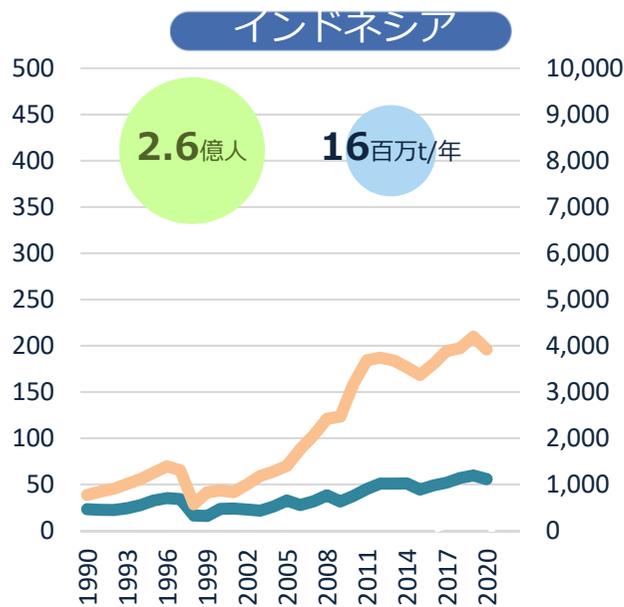
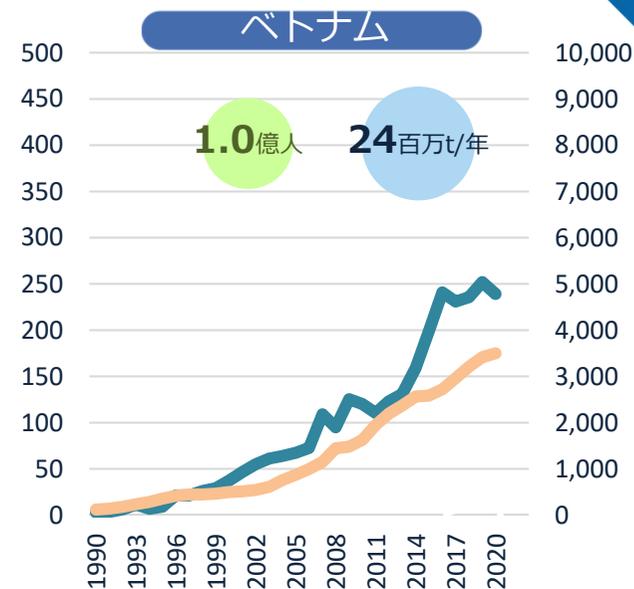
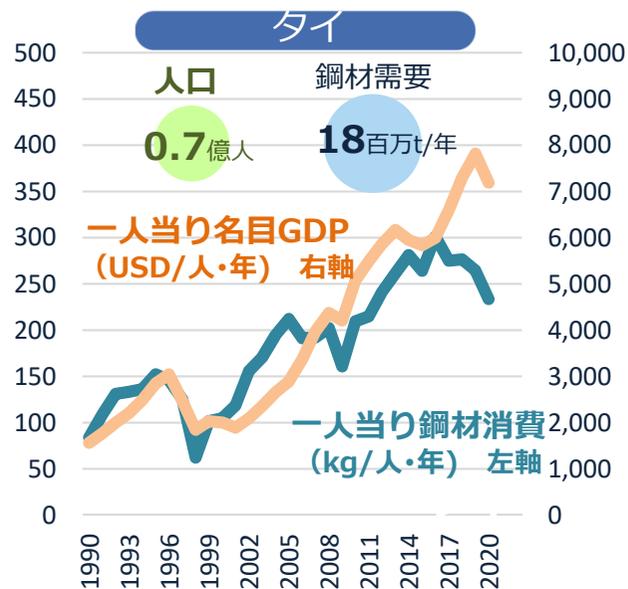
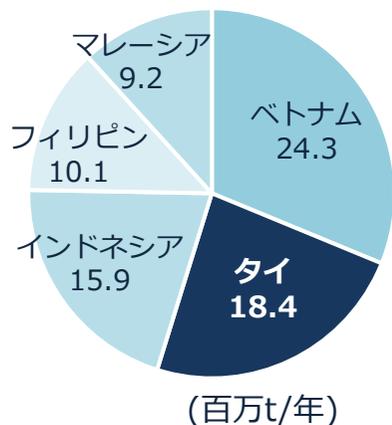
国内において、最高級の商品を効率的に生産し得る強靱な生産体制を構築  
海外市場において需要地での一貫生産体制を拡大  
今後も伸長する高級鋼需要・海外需要を捕捉し持続的な利益成長を目指す



# Appendix

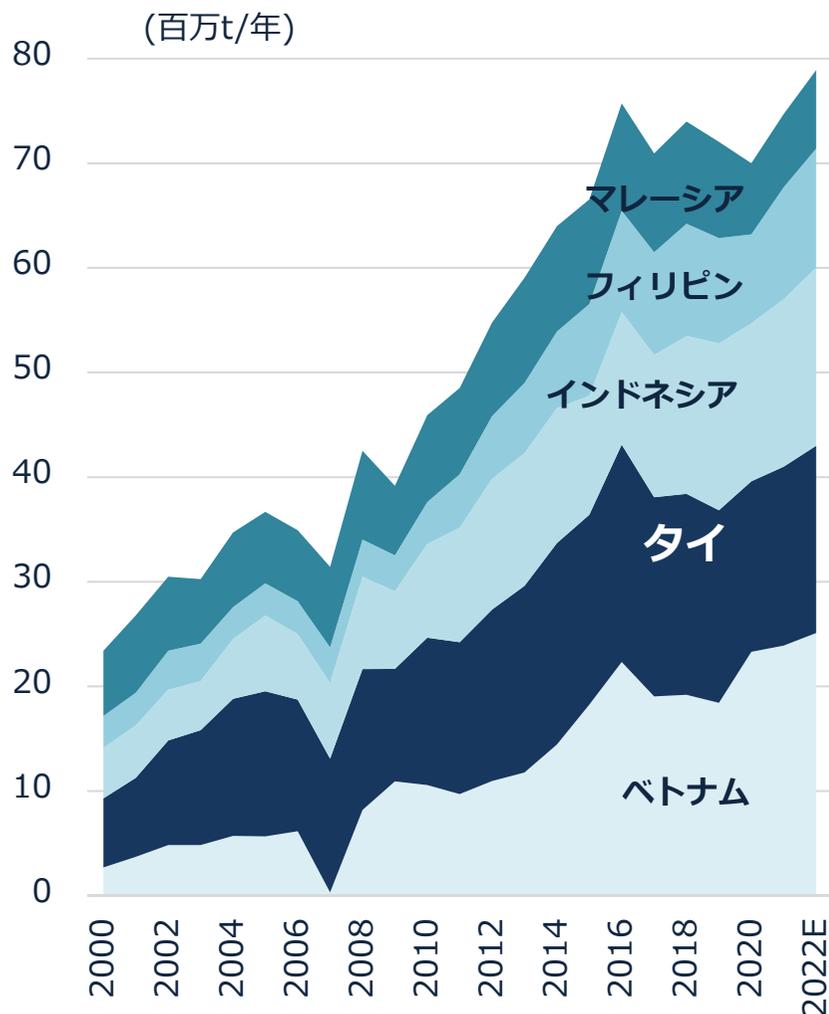
# ASEAN鉄鋼市場の概要

ASEAN鋼材需要  
78百万t/年 (CY2019)内訳

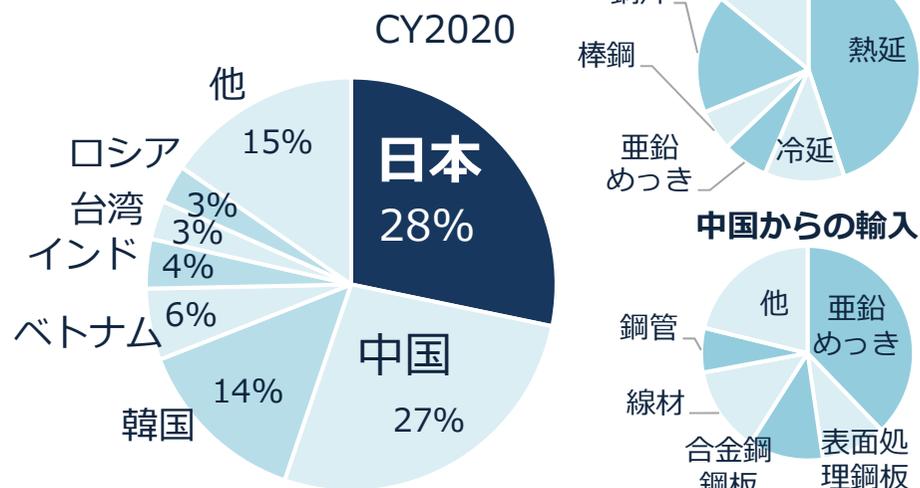


# ASEAN／タイ鉄鋼市場の概要

## ASEAN鋼材需要推移



## タイ鉄鋼輸入元内訳



## タイ主要鉄鋼メーカー（鉄源、薄板）

		電炉	熱延	冷延	めっき	
電炉一貫 (条系)	TATA Steel Thailand	○				
	Siam Yamato	○				大和工業64%
電炉一貫 (板系)	G Steel	○	○			
	GJ Steel	○	○			
単圧	Sahaviriya Steel		○			
	NS-SUS			○	○	当社80%
	STP				○	当社99%
	NS Bluescope			○	○	当社50%
	JSGT				○	JFE100%
	PTCS				○	POSCO100%

# 当社グループASEAN主要製造拠点



	品種	社名		能力 万トン/年	設立年	当社 出資比率
* 2022.4 NS-SUSと統合予定 タイ	薄板	NS-SUS	NS-Siam United Steel	冷延・めっき	100	1995 80%
	ブリキ	STP*	Siam Tinplate	めっき	27	1988 99%
	鋼管	NSPT	NIPPON STEEL PIPE(Thailand)	造管・冷牽・熱処理	16	1963 58%
		NSSPT	NIPPON STEEL Steel Processing(Thailand)	伸線	10	1997 67%
	棒線	TSW	Thai Special Wire	伸線	2	1974 51%
		TPP	THAI PRECISION PRODUCTS CO.,LTD.	精密品加工	1	2012 80%
タイ・ベトナム・イン ドネシア・マレーシア	薄板	NSBS	NS Bluescope	酸洗・冷延 ・めっき・塗装	92	2013 資本参加 50%
ベトナム	薄板	CSVN	China steel and Nippon steel Vietnam joint stock Company	焼鈍・めっき	120	2009 30%
	鋼管	NPV	Nippon Steel Spiral Pipe Vietnam	造管	6	2011 76%
		VNSP	Vietnam Nippon Steel Pipe	造管	4.8	1997 60%
インドネシア	薄板	KNSS	PT Krakatau Nippon Steel Synergy	焼鈍・めっき	48	2017 80%
	ブリキ	LATINUSA	P.T. Palat Timah Nusantara Tbk.	めっき	16	2006 資本参加 35%
	形鋼	KOS	PT Krakatau Osaka Steel	形鋼・棒鋼・平鋼 コバインドミル	50	2017 80%
	鋼管	INSP	PT. Indonesia Nippon Steel Pipe	造管・冷牽・熱処理	4.2	2007 90%
ブルネイ	鋼管	VAM®BRN		継手加工		2016 60%



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。